

事業箇所総合評価シート

【担当課：公園緑地課】

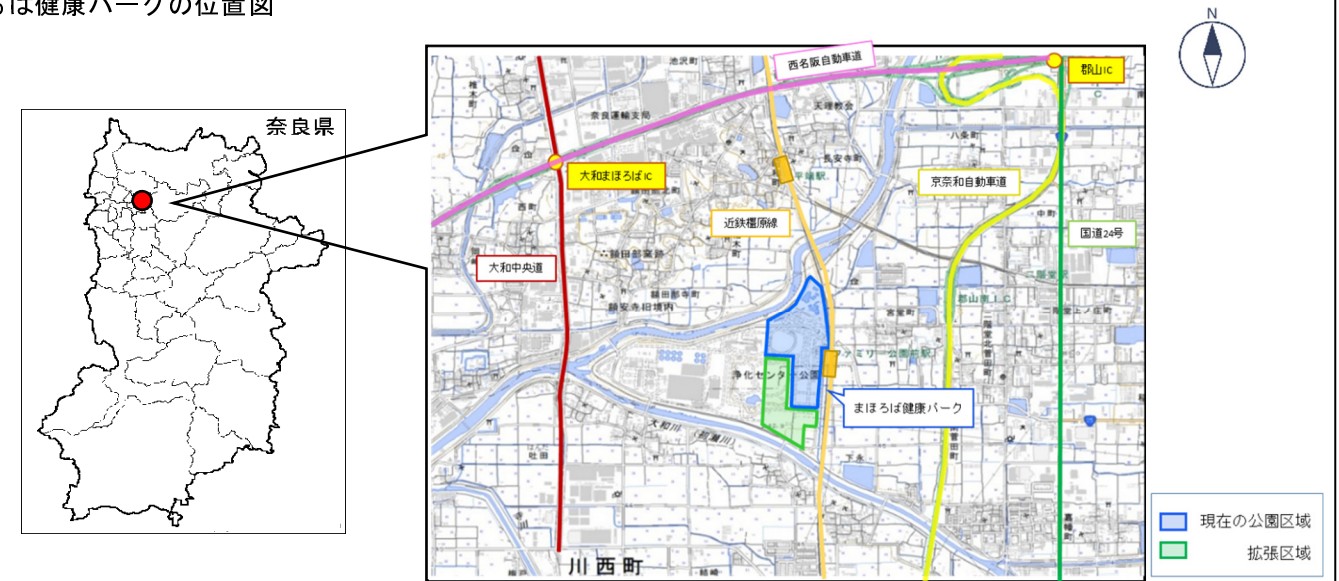
事業名	(仮称) まほろば健康パーク機能強化事業	路線名等	まほろば健康パーク
箇所名	大和郡山市宮堂町・磯城郡川西町下永		

事業の概要	目的	現在のまほろば健康パークに隣接する下水道敷地の一部について、緩衝緑地としての機能を維持しながら、子どもの成長段階に応じた遊び・スポーツ施設を整備するとともに、子どもを中心に多世代が集まり誰もが同じ場所で一緒に遊べるインクルーシブな空間の創出を目的とする。			
	事業内容	面積：約10.8ha（全体面積：20.3ha） 主な施設：都市公園整備（遊戯施設、運動施設、便益施設、休養施設等） 【基本コンセプト】 みんなが憩い楽しみ、子どもが遊びや運動を通して成長する公園 【基本方針】 1) 子どもの成長段階に応じた遊び・スポーツ施設ゾーンの整備と、子どもを中心に多世代が集まり誰もが同じ場所で一緒に遊べるインクルーシブな空間の創出 ① 乳児・幼児が遊びを通して成長できる施設ゾーン（対象年齢：6ヶ月～5歳） ② 子どもが遊びや運動を楽しみ上達する施設ゾーン（対象年齢：3～10歳） ③ 子どもが目標に向かって取り組むスポーツ施設ゾーン（対象年齢：8～15歳） ④ エントランスゾーン 2) 既存植栽を活かし、緑豊かな憩いの空間を整備 3) 周辺施設との連携による賑わいの創出			
着手年度	令和4年度	完成年度（予定）	令和9年度	全体事業費	約5,500百万円

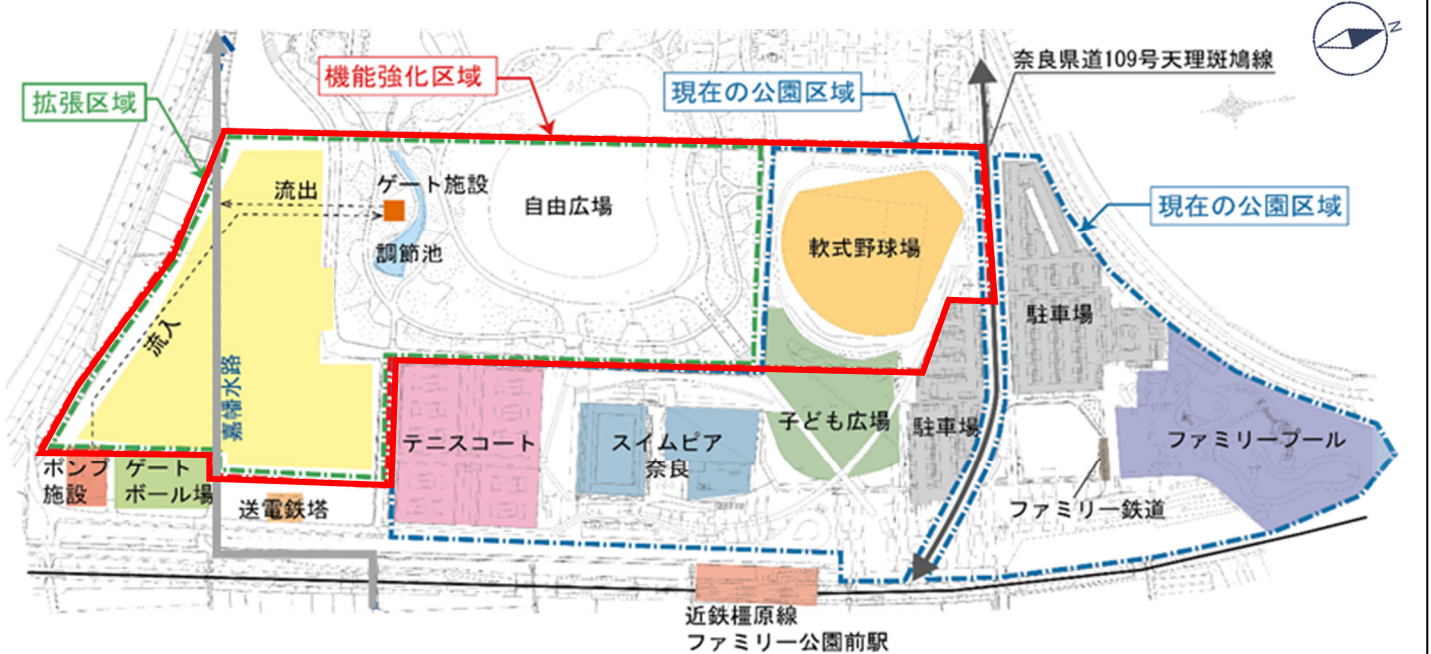
定性的評価	事業の必要性	【経緯】 まほろば健康パークは、奈良県流域下水道センターの周辺環境向上と県民へスポーツ・憩いの場を提供することを目的とする都市公園（運動公園）であり、昭和49年に「浄化センター公園」の名称で都市計画決定し、テニスコートやファミリープール、野球場等の施設整備を順次進め、昭和59年に全面開園した。 その後、県の新たな水泳拠点を本公園に整備する方針となり、プール（屋内・屋外）等を新設し、平成26年7月に「まほろば健康パーク」としてリニューアルオープンした。 【必要性】 ① 子どもが遊びを通して体力・運動機能をはぐくむ環境づくり 奈良県スポーツ推進計画（H30.3）では、子どもの運動時間が短くなっていること等の問題意識から「幼児期からスポーツに親しむ機会」を持てるよう「公園などを活用したスポーツ環境の整備」が求められているが、県内にはこれまで、こうした視点を持って計画・整備された都市公園はなく「子どもが遊びを通して体力・運動機能をはぐくむ環境づくり」が必要である。 なお、奈良県教育振興大綱（R3.3）では、乳幼児期における心身の発達を重要視しており「まほろば健康パークの機能を強化し、乳幼児が遊びを通して体力・運動機能をはぐくむことができる公園づくり」を進めるとされている。 ② 本公園における利用者ニーズへの対応 現在のまほろば健康パークは、道路・鉄道とのアクセスも良く、プールやテニスコートは県内各地から多くの利用をいただいているが、来園者からは「子どもを安心して遊ばせられる空間」「子どもの運動・遊びを支える施設」を求める意見が多くあることに加え、「多様なスポーツを気軽に楽しめる」「行事・イベントを楽しむことができる」といった意見もあり、県民サービス向上の観点から、より多くの方々に様々な形で利用いただける公園としていく必要がある。
	事業の有効性（事業により予想される効果及び影響）	【費用対便益】 B/C = 1.56
	コスト縮減への取組	公共空間としての公平性及び公益性を担保しつつ、PFIなどの新しい制度を活用する全国の動きも踏まえ、民間のノウハウや創意工夫を最大限活かすことで、施設整備・管理運営費の縮減と同時に継続的な魅力向上を図る。
	他計画他事業との関連	・「第2期 奈良県教育振興大綱」（令和3年3月） ・「奈良県スポーツ推進計画」（平成30年3月）

対応方針（案）	左の理由
新規事業箇所とする	まほろば健康パーク（機能強化）において、「みんなが憩い楽しみ、子どもが遊びや運動を通して成長する公園」として整備する本事業の有効性等は妥当であり、新規事業化の必要性が認められる。

■まほろば健康パークの位置図



■区域と主要施設の現状



■機能強化ゾーニング図

